

大阪市高齢者実態調査の結果の概要
(市民を対象とした各調査)

平成26年7月

大阪市 福祉局 高齢福祉課
介護保険課

- 目 次 -

1	調査概要	
(1)	調査目的	1
(2)	調査設計	1
(3)	調査項目	1
(4)	回収状況	2
(5)	報告書の見方	2
2	本人調査	
	・調査票記入者、性別、年齢	3
	・居住区、世帯の状況、昼間独居の状況	4
	・住宅の種類、介護保険の申請・認定の状況	5
	・日常生活動作・日常的な活動の状況、外出の頻度	6
	・現在、健康のために気をつけていること、今後、健康のための取り組みたいこと	7
	・介護予防事業への参加状況、今後の参加意向	7
	・日常生活全般に対する不安、不安に感じることの内容	8
	・継続的に参加している団体や集まり、社会参加に貢献できると考える活動	9
	・地域で行われている見守りに関する取り組み	10
	・近所の方がお困りの時お手伝いできること、地域の人に助けてもらいたいこと	10
	・特別養護老人ホームの整備に対する考え、入所に関する意向	11
	・将来の希望する暮らし方、在宅生活継続のために必要な支援	12
	・地域包括支援センター等の利用・認知状況	13
	・認知症という病気の認知度、支援に必要と考える事	13
	・孤立死について考えること、孤立死防止のために必要な支援	14
	・災害時にひとりで避難が可能か、手助けを頼める人の有無、災害時の心配事	15
	・重点を置くべきと考える高齢者施策	16
3	ひとり暮らし調査	
	・ひとり暮らしの期間、健康状態、日頃行き来のある方	17
	・もっともよく行き来している方との行き来の頻度、誰とも話をしない日	18
	・病気等の緊急時にすぐに来てくれる人の有無、介護を要したことがあるか	18
	・（世帯比較）日常生活全般に対する不安、不安に感じることの内容	19
	・（世帯比較）将来の希望する暮らし方、在宅生活継続のために必要な支援	20
	・（世帯比較）孤立死について考えること、孤立死防止のために必要な支援	21
	・（世帯比較）災害時にひとりで避難が可能か、手助けを頼める人の有無	22
	・（世帯比較）重点を置くべき高齢者施策	23

4	介護保険サービス利用者・未利用者調査	
	・調査対象者の性別、年齢	25
	・調査対象者の要介護度、世帯の状況	26
	・介護者の有無、要介護認定を受けた理由	27
	・要介護認定満足度、現在利用している介護保険サービス（居宅）	28
	・現在利用している介護保険サービス（施設）、サービスの満足度	29
	・介護支援専門員（ケアマネ）に対する満足度	30
	・介護保険サービスの利用状況、サービスを利用していない理由	31
	・1年以内に利用したい介護保険サービス	32
	・1年以内に利用したい介護保険サービスの内容（居宅）	33
	・1年以内に利用したい介護保険サービスの内容（施設）	34
	・介護予防の取り組み	35
5	介護者調査	
	・介護者と本人の関係	37
	・介護者の性別、介護者の年齢	38
	・介護に要する時間	39
	・本人の認知症の程度	40
	・介護の内容	41
	・介護の上で困っていること	42
	・介護を行ううえで、なったことがある状態	43
	・介護保険サービスの利用と変化、サービスの利用意向	44
	・在宅介護の継続のために必要なこと	45

1 調査概要

(1) 調査目的

高齢者施策の推進にあたっては、「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき推進しているところであるが、この計画は高齢者とその家族形態やニーズの変化、社会経済状況の推移、国の施策動向を踏まえ3か年ごとに3年を一期とする計画を策定することとしている。

本調査は、次期計画を策定するにあたり、高齢者の実態を把握するとともに、今後の高齢者施策及び介護保険事業制度の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

(2) 調査設計

調査地域：大阪市内全域

調査種別及び調査対象

〔本人調査・ひとり暮らし調査・付随調査〕

・大阪市内に居住する満65歳以上の高齢者から無作為に抽出した18,000人

〔介護保険サービス利用者調査〕

・大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、平成25年4月から6月までの3カ月間、介護保険サービスを利用した方から無作為に抽出した5,000人

〔介護保険サービス未利用者調査〕

・大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、平成25年4月から6月までの3カ月間、介護保険サービスを利用しなかった方から無作為に抽出した7,500人

〔介護者調査〕

・「介護保険サービス利用者調査」の対象となった方及び「介護保険サービス未利用者調査」の対象となった方を介護している者（介護保険サービス事業者を除く）

調査方法：郵送配付、郵送回収

調査期間：平成25年10月1日から平成25年10月31日まで

市民を対象とした上記各調査と同時に、次の調査を実施。

〔介護支援専門員調査〕

・大阪市内の居宅介護支援事業所等に勤務するすべての介護支援専門員 4,070人

〔施設調査〕

・大阪市内にある介護老人福祉施設などの介護保険施設及び養護老人ホームなどの福祉施設 611施設

(3) 調査項目

〔本人調査・ひとり暮らし調査・付随調査〕

世帯・住まいの状況、健康状態・健康に対する意識・日常生活の状況、就労・地域生活の状況・いきがいの内容、将来の介護や援護に対する考え、現在の暮らしに対する気持ち、地域生活支援、高齢者施策全般などについて調査する。

また、ひとり暮らし高齢者には、ひとり暮らしの期間、健康状態、日常的なつながり、緊急時の支援者の有無、介護が必要なときの療養などについて調査を行い、あわせて、会食サービス利用者、老人憩の家利用者には、それぞれの事業内容などについての調査を行う。

(3) 調査項目

〔介護保険サービス利用者調査〕

世帯の状況、健康状況、介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え、介護予防に対する取り組みについて調査し、あわせて、その介護者に対して介護の状況、介護上の問題点などについて調査を行う。

〔介護保険サービス未利用者調査〕

世帯の状況、健康状況、介護保険サービスの未利用の理由、利用に対する考え、介護予防に対する取り組みについて調査し、あわせて、その介護者に対して介護の状況、介護上の問題点などについて調査を行う。

市民を対象とした上記各調査と同時に、次の調査を実施。

〔介護支援専門員調査〕

担当している利用者の状況や、サービス内容と課題、支援困難な利用者への対応状況、高齢者虐待の状況、居宅介護支援事業全般などについて調査を行う。

〔施設調査〕

利用者の属性、施設の運営状況、サービスの質の向上にあたっての取り組み状況などについて調査を行う。

(4) 回収状況

	調査対象数	回収数	集計対象外数	有効回答数	有効回答率
	(a)	(b)	(c)	(d)=(b)-(c)	(e)=(d)/(a)
本人調査	18,000	10,201	350	9,851	54.7%
ひとり暮らし調査	-	-	-	2,760	-
食事の会食サービス利用者調査	-	-	-	363	-
老人憩の家利用者等調査	-	-	-	919	-
サービス利用者調査	5,000	2,857	156	2,701	54.0%
サービス未利用者調査	7,500	4,385	589	3,796	50.6%
介護支援専門員調査	4,070	2,506	0	2,506	61.6%
施設調査	611	475	2	473	77.4%

(5) 報告書の見方

回答は、各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入した（比率の合計が100％にならない場合がある）。

図表上の「MA％」という表記は複数回答（Multiple Answerの略）の、また「LA％」という表記は制限つき複数回答（Limited Answerの略）の意味である。

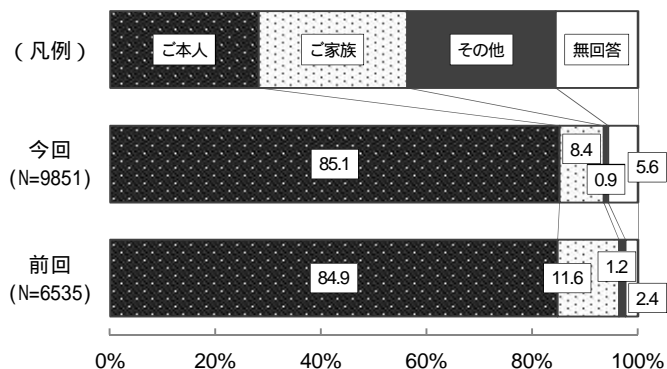
コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

本報告書は、市民を対象として実施した各調査結果について掲載している。

2 本人調査

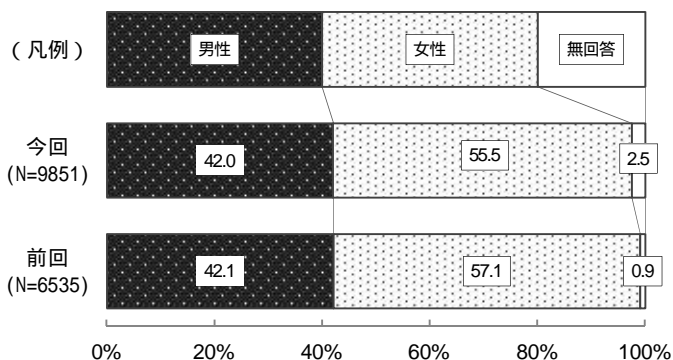
問1 調査票記入者

- ・調査票の記入者は、「本人」が85.1%、「家族」が8.4%となっている。
- ・前回調査と同じく、8割以上の方は、ご本人が調査に協力いただいている。



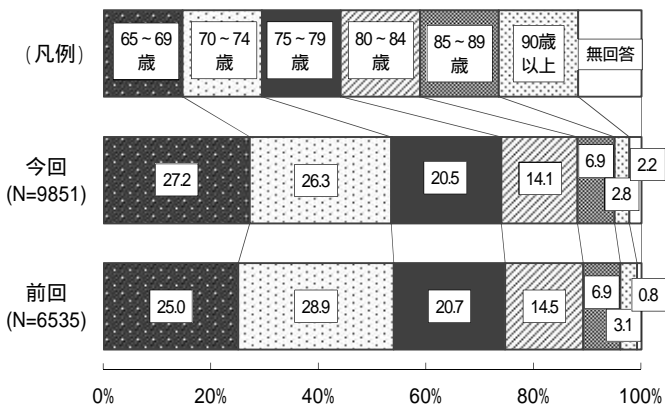
問2 (1) 性別

- ・調査回答者の性別は、「男性」より「女性」の割合が高くなっている。
- ・回答者の性別の割合は、概ね前回調査と同様となっている。



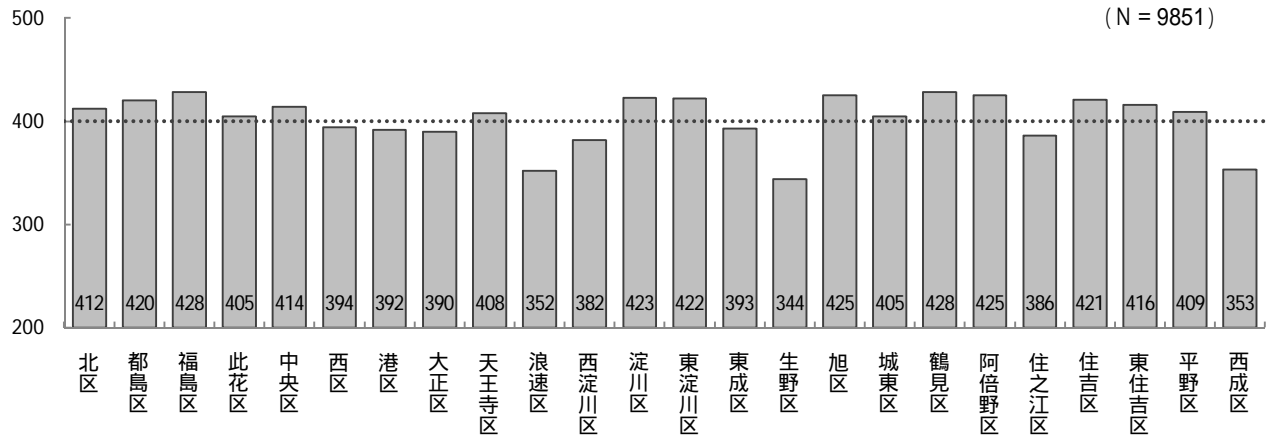
問2 (2) 年齢

- ・調査回答者の年齢は、前期高齢者（65歳～74歳）の回答が5割を超えており（53.5%）、後期高齢者（75歳以上）の回答は44.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、65～69歳の回答者の割合がやや増え、70～74歳の回答者の割合がやや減っているが、全体的には、概ね前回と同様の構成割合となっている。



問2(3) 居住区

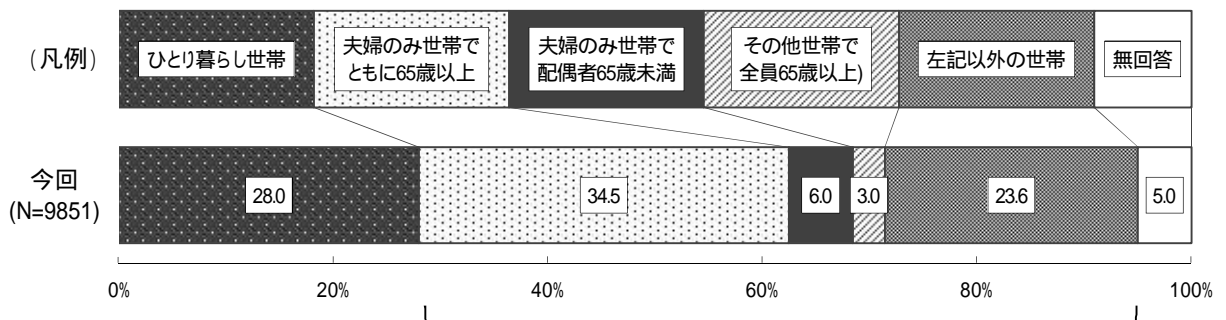
・調査回答者について、24区別に400件程度の回答を得ているが、浪速区、生野区、西成区からの回答はやや少なくなっている。



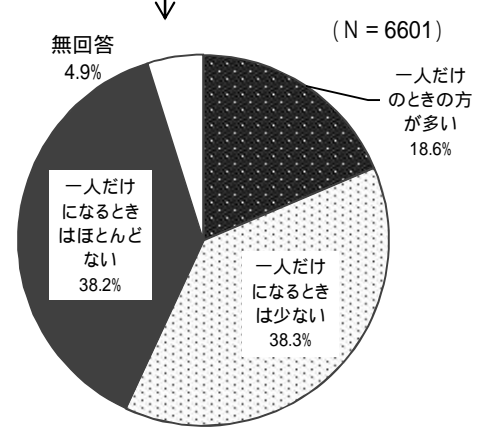
(N = 9851)
(無回答 = 204件)

問3 世帯の状況(同居家族)・問3-1(ひとり暮らし以外の方)昼間の状況

・調査回答者の世帯状況については、「夫婦のみ世帯でともに65歳以上」の割合が34.5%で最も高くなっており、次いで「ひとり暮らし世帯」が28.0%となっている。



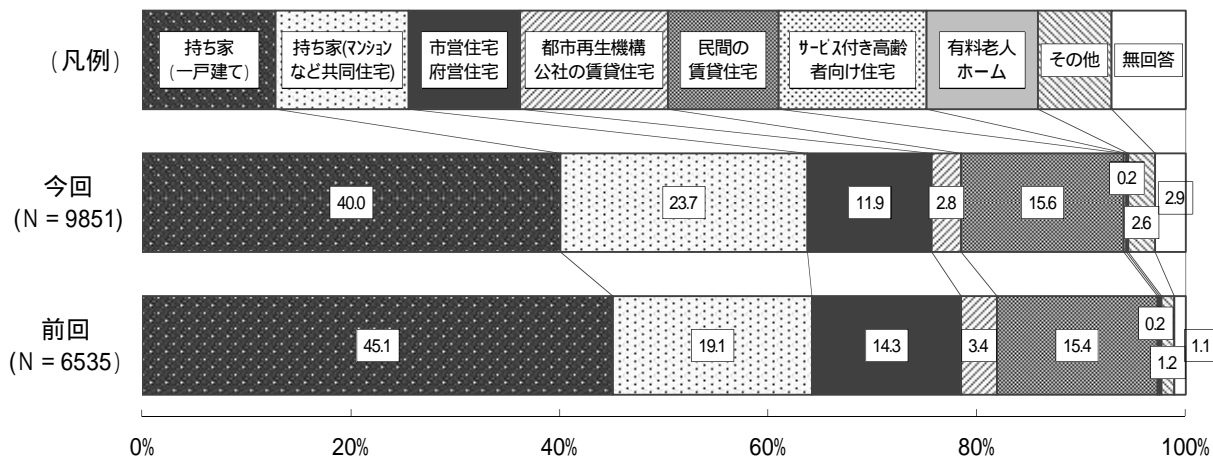
ひとり暮らし以外の方



・ひとり暮らし以外の方に、昼間の状況を探ねると、「一人だけになるときは少ない」が最も多く、次いで、「一人だけになるときはほとんどない」となっている。

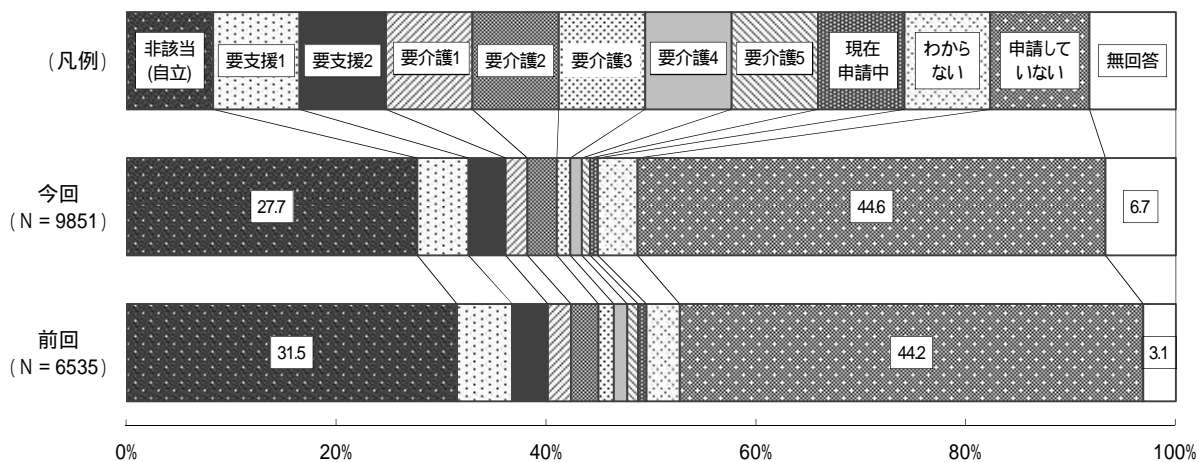
4 住宅の種類

・調査回答者の住宅の種類については、約4割の方は「持ち家(一戸建て)」との回答となっている。次いで、「持ち家(マンションなどの共同住宅)」となっており、両方合わせると、「持ち家」との回答割合は6割を超える。
 ・前回調査と比較すると、「持ち家(一戸建て)」は5.1ポイント低くなり、「持ち家(マンションなど共同住宅)」が4.6ポイント高くなっている。



問6 介護保険の申請・認定の状況

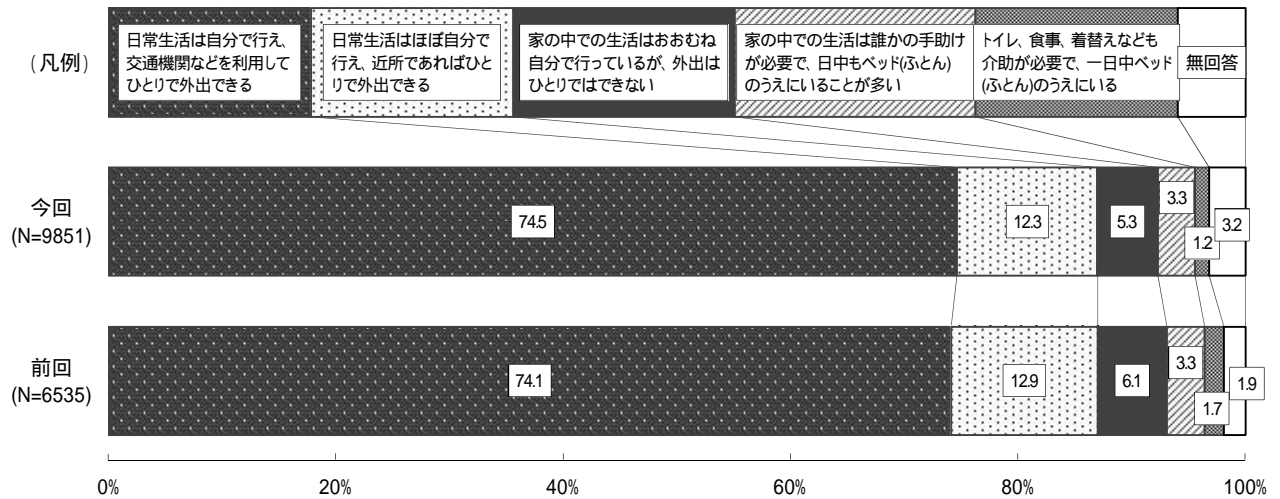
・調査回答者の介護保険の申請・認定状況については、「申請していない」が最も多く、次いで「非該当(自立)」となっており、あわせると7割を超える割合となっている。また、認定のある方の中では、「要支援1」「要支援2」「要介護2」の順に多く、比較的軽度な方が続いている。
 ・前回調査と比較すると、「非該当(自立)」は3.8ポイント低くなり、「申請していない」は0.4ポイント高くなっている。



	非該当(自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	現在申請中	わからない	申請していない	無回答
今回	27.7	4.9	3.5	2.1	2.8	1.3	1.1	0.8	0.7	3.8	44.6	6.7
前回	31.5	5.3	3.4	2.2	2.6	1.5	1.3	1.0	0.8	3.2	44.2	3.1

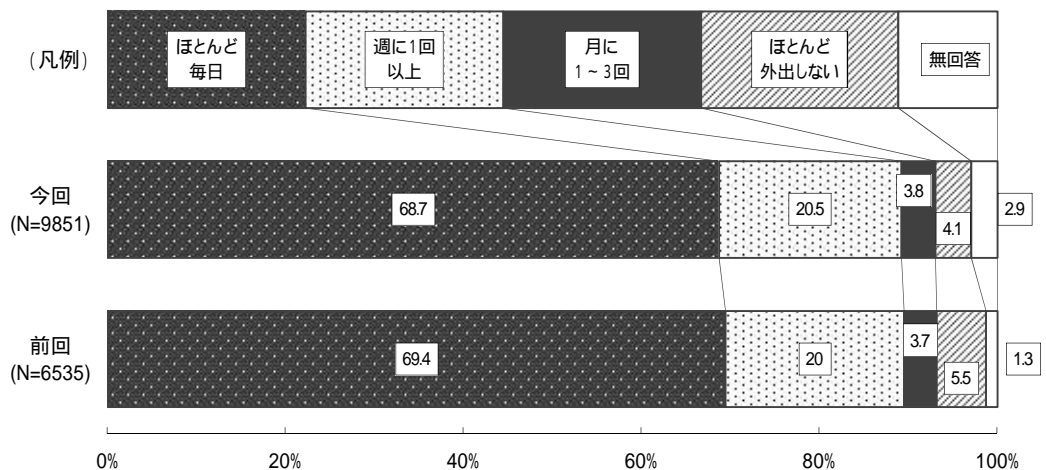
問7 日常生活動作・日常的な活動の状況

・日常生活動作は、「日常生活は自分で行え、一人で外出できる」が74.5%と大部分を占め、「日常生活はほぼ自分で行え、近所であればひとりで外出できる」(12.3%)が続き、86.8%の方が『日常生活はほぼ自分で行え、外出ができる』状況となっている。
 ・前回調査と比較しても、同様に8割以上の方が、『日常生活はほぼ自分で行え、外出ができる』となっており、概ね同様の傾向となっている。



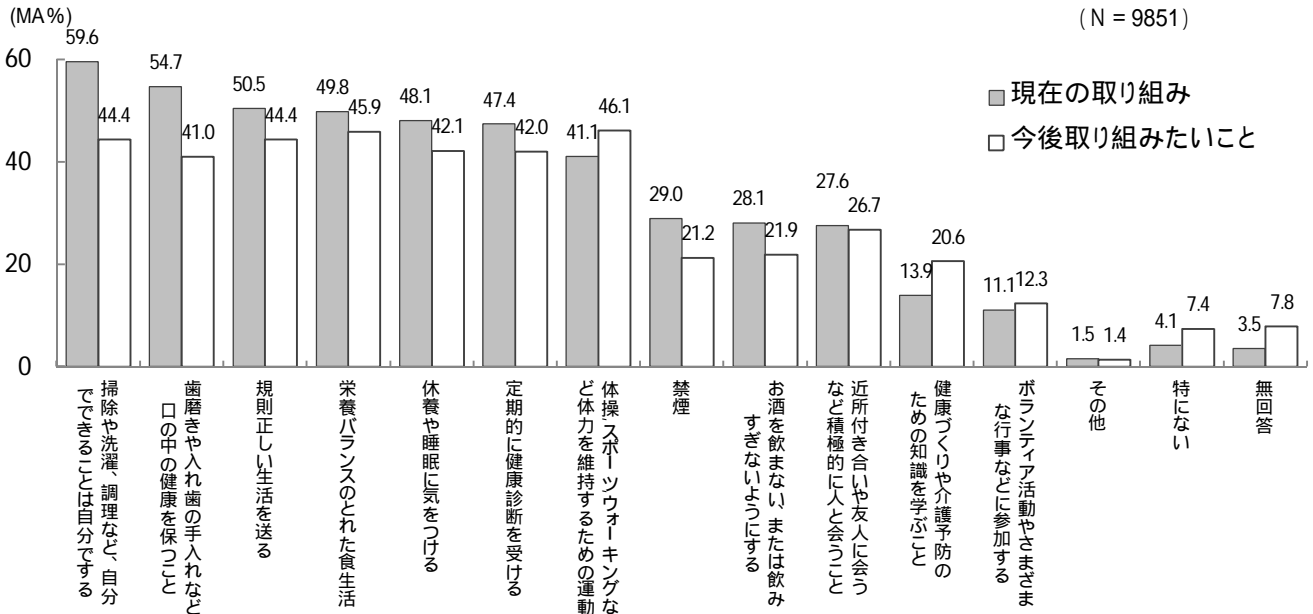
問8 外出の頻度

・外出の頻度については、「ほとんど毎日」が68.7%で最も多く、「週に1回以上」をあわせると9割近く(89.2%)となる。
 ・前回調査と比較しても概ね前回と同様の傾向となっている。



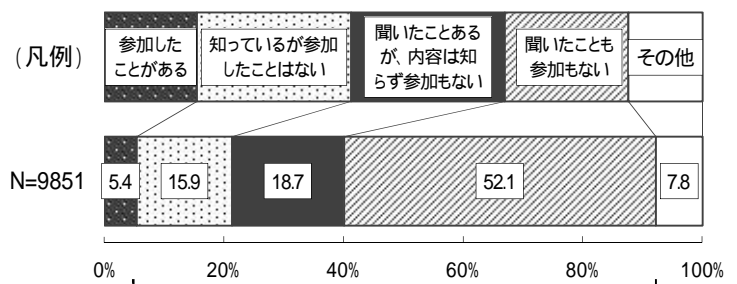
問10 現在、健康のために気をつけていること (複数回答)
 問11 今後、健康のために取り組みたいこと (複数回答)

・現在の健康への留意状況では、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が59.6%で最も多く、次いで「歯磨きや入れ歯の手入れなど、口の中の健康を保つこと」が54.7%となっている。
 ・今後の健康のために取り組みたいことは、「体操、スポーツ、ウォーキングなど体力を維持するための運動」が46.1%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食生活」が45.9%となっている。



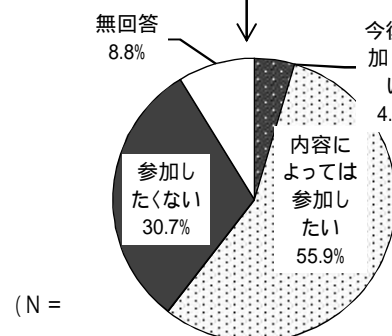
問12 介護予防事業への参加状況
 問12-1 (介護予防事業に不参加の方) 事業への今後の参加意向

・大阪市が行っている介護予防事業への参加状況は、事業について「聞いたことも参加したこともない」が52.1%と最も多い。「知っているが参加したことはない」(15.9%)、「聞いたことはあるが、内容は知らないし、参加したこともない」(18.7%)とあわせると、「参加したことがない」人は86.7%となる。



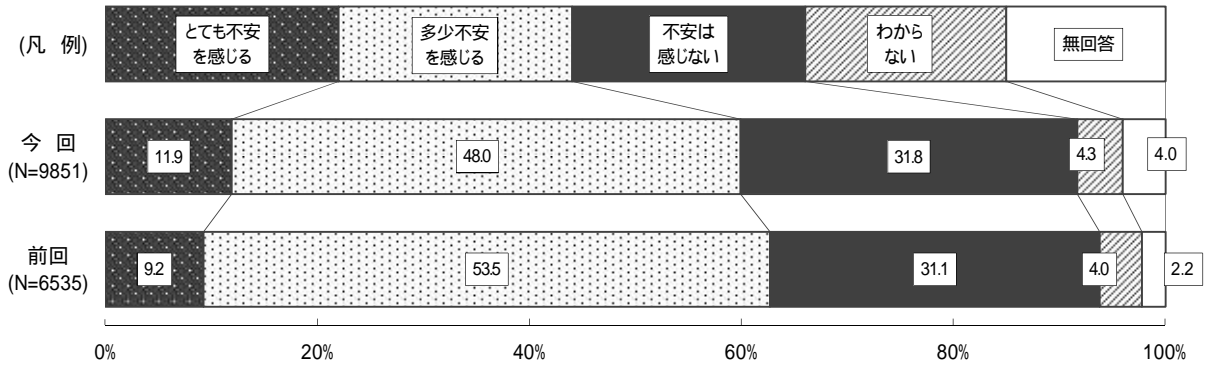
・介護予防事業へ参加したことがない方に参加意向をたずねたところ、「今後参加したい」、「内容によっては参加したい」という人は、60.5%となった。

(参加したことの無い方) 今後の参加意向



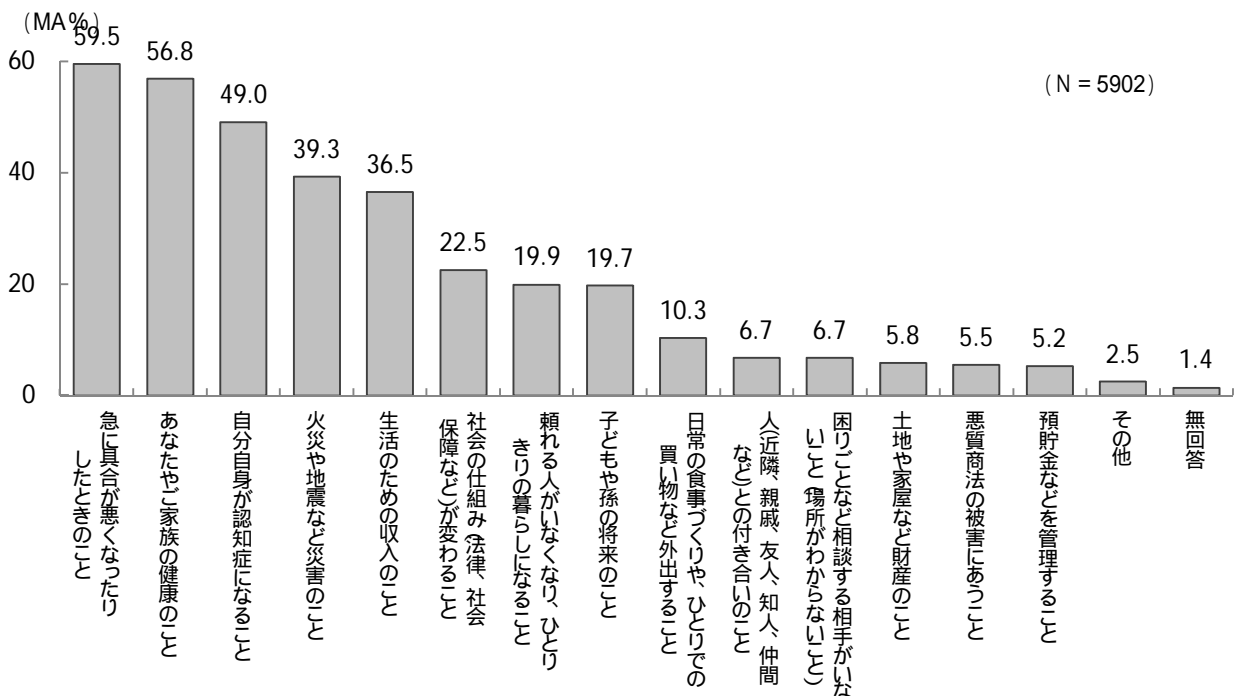
問16 日常生活全般に対する不安
問16-1 (不安を感じる方) 不安を感じることの内容 (複数回答)

・日常生活での不安の有無については、「多少不安を感じる」が48.0%で最も多く、「とても不安を感じる」とあわせると約6割となる。
 ・前回調査と比較すると、「とても不安を感じる」は2.7ポイント高く、「多少不安を感じる」は5.5ポイント低くなっている。



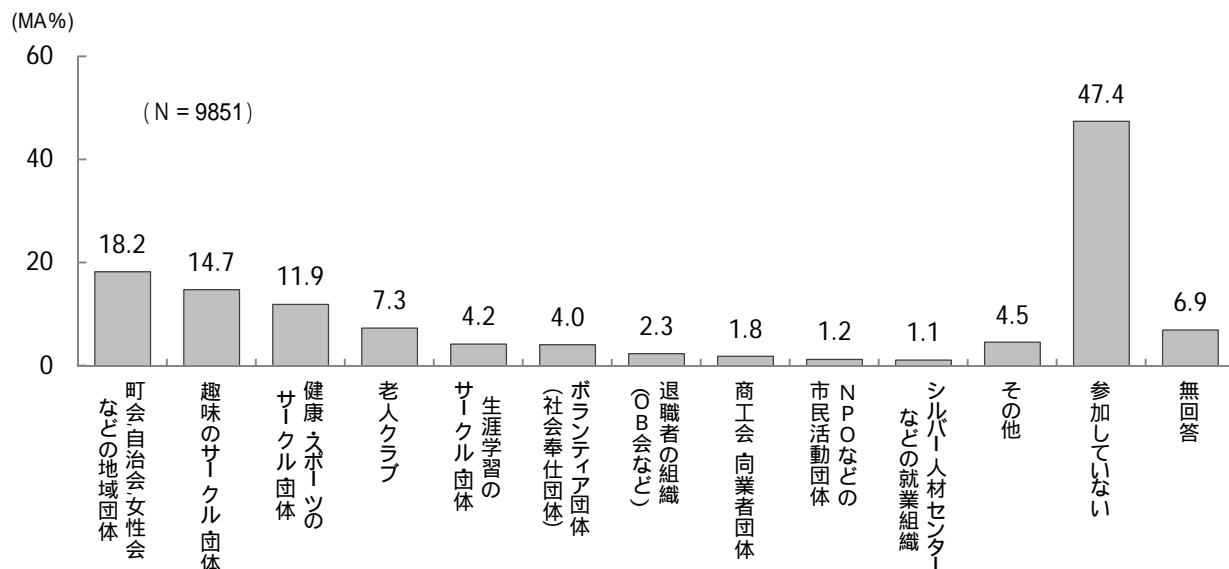
(不安を感じる方) 不安を感じることの内容 (複数回答)

・不安を感じると回答した人に、不安を感じることの内容をたずねると、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が59.5%と最も高く、次いで「あなたやご家族の健康のこと」(56.8%)、「自分自身が認知症になること」(49.0%)、「火災や自身など災害のこと」(39.3%)となっている。



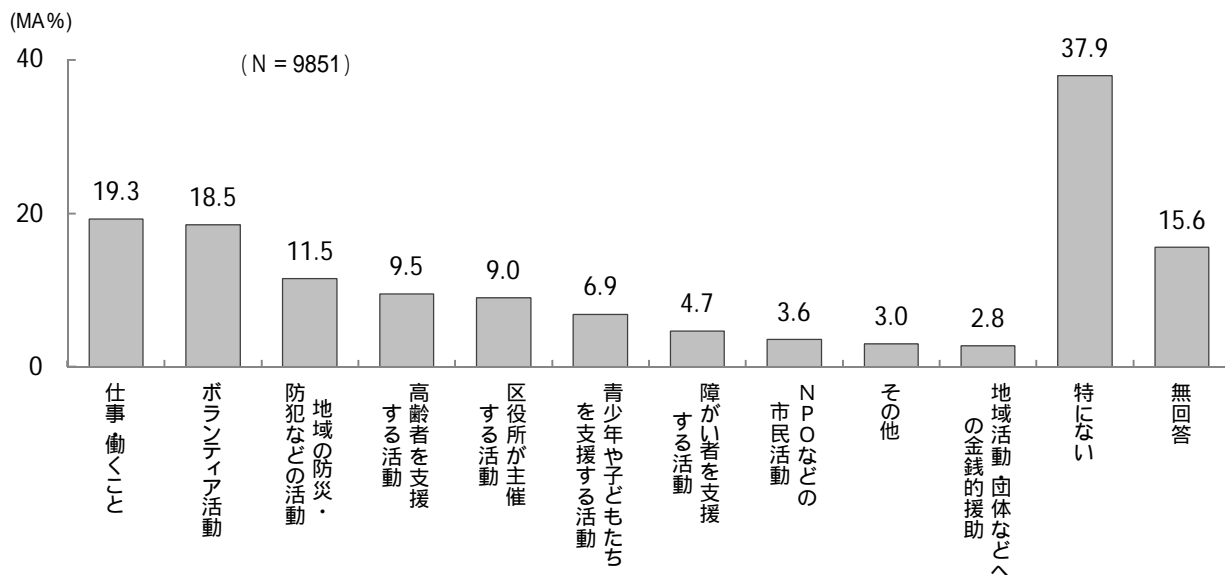
問20 継続的に参加している団体や集まり (複数回答)

・参加しているとの回答の中では、「町会、自治会、女性会などの地域団体」が18.2%と最も多く、次いで「趣味のサークル・団体」、「健康・スポーツのサークル・団体」の順となっている。
 ・一方で回答割合が最も多いのは、「参加していない」で47.4%となっている。



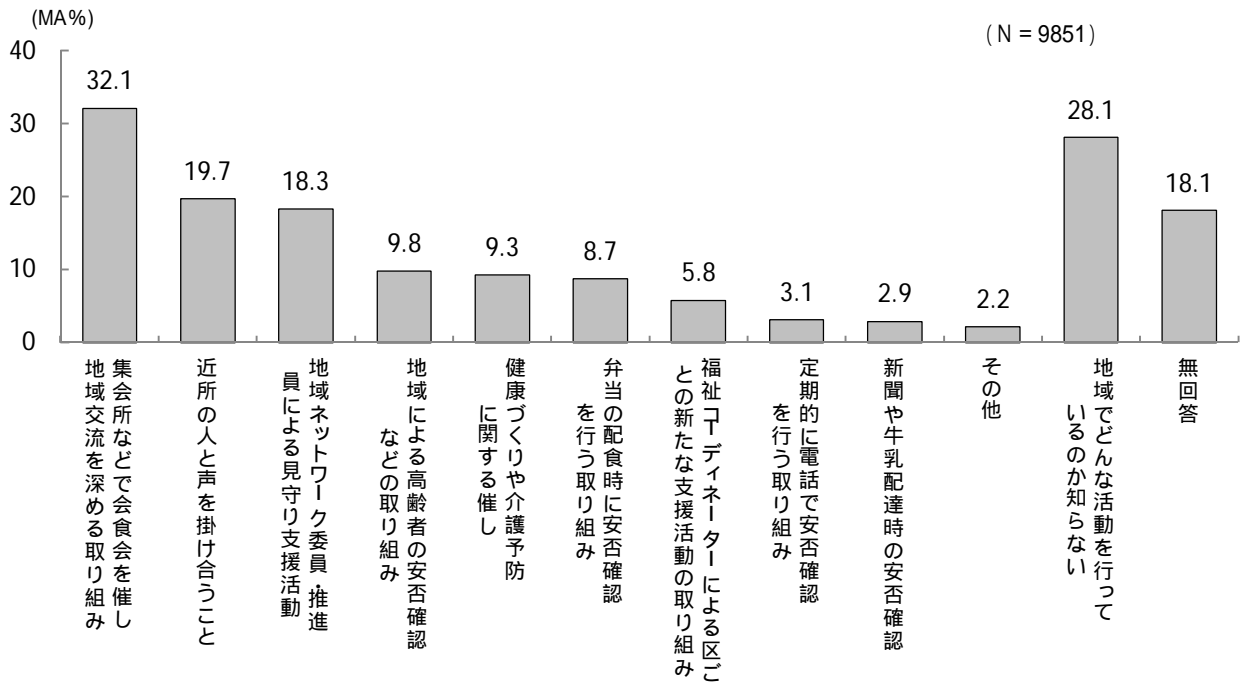
問21 地域社会に貢献できると考える活動 (複数回答)

・地域社会に貢献できると考える活動について尋ねると、「仕事・働くこと」が19.3%で最も多く、次いで「ボランティア活動」、「地域の防災・防犯などの活動」の順となっている。
 ・一方で、「特にない」が37.9%であり、回答の中では最も多くなっている。



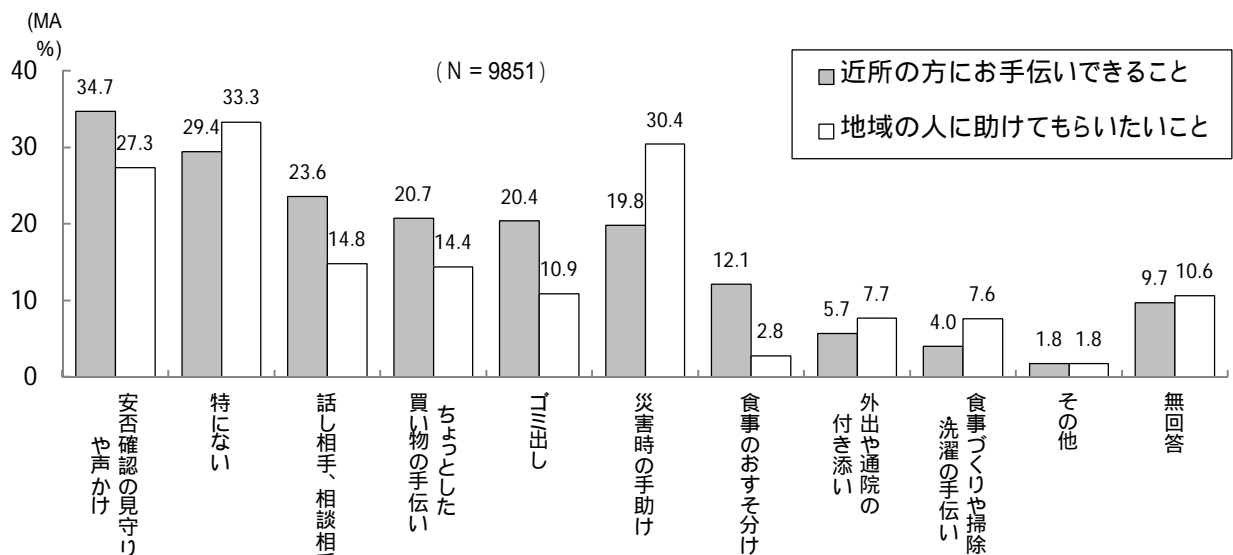
問22 地域で行われている見守りに関する取り組み (複数回答)

・ 地域の見守りに関する取り組みについて知っていることは、「集会所などで会食会を催し地域交流を深める取り組み」が32.1%と最も多く、次いで、「近所の人と声を掛け合うこと」「地域ネットワーク委員・推進員による見守り支援活動」の順となっている。
 ・ 一方で、「地域でどんな活動を行っているのかわからない」(28.1%)の回答も多く、選択肢全体の中で2番目に多い回答となっている。



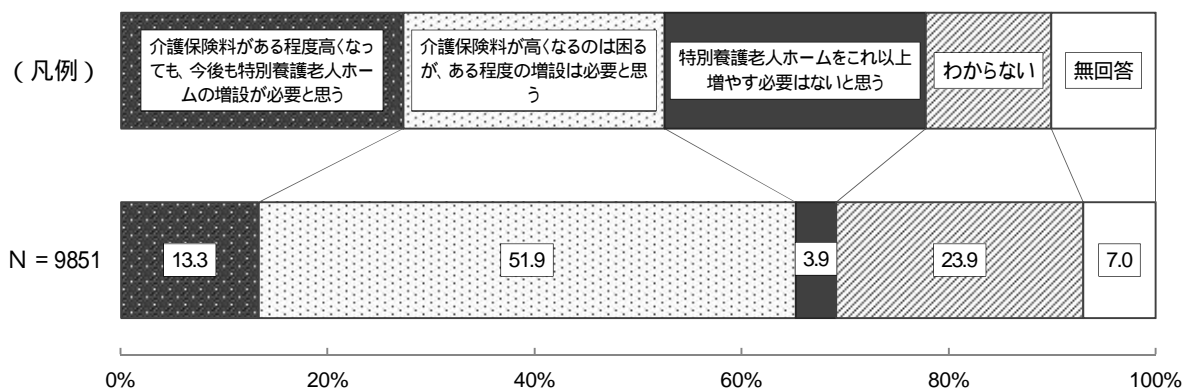
問23 近所の方がお困りの時、お手伝いできること (複数回答)
問24 困った時、地域の人に助けてもらいたいこと (複数回答)

・ 「近所の方がお困りの時、お手伝いできること」については、「安否確認の見守りや声かけ」が34.7%で最も多く、次いで「特にない」、「話し相手、相談相手」の順となっている。
 ・ 「困った時、地域の人に助けてもらいたいこと」については、「特にない」が33.3%で最も多く、次いで、「災害時の手助け」、「安否確認の見守りや声かけ」の順となっている。



問26 特別養護老人ホームの整備に対する考え

・特別養護老人ホームの整備にかかる考えについては、「介護保険料が高くなるのは困るが、ある程度の増設は必要と思う」が51.9%と最も多い。「介護保険料がある程度高くなっても、今後も特別養護老人ホームの増設が必要と思う」も含めると、増設の必要性を感じている人は65.2%となっている。



問27 特別養護老人ホームの入所に関する意向

・入所したい施設については、「ユニット型特別養護老人ホーム」への入所を希望する方が5割を超えており、従来型特別養護老人ホームに比べて、大幅に多くなっている。

